

第 1・2 回 三次市まち・ゆめ基本条例検証委員会が出された主な意見

職員アンケートについて

- 前回に比べて認知度が下がっている。
- 啓発しているのに認知度が低いということは、改善の余地があるのではないか。
- 新人研修で扱ったかどうか。
- 結果をフィードバックしているのか。
- 職員は、この条例が自分たちの仕事の土台になっていることを認識し、夢を追いかけてほしい

取り組みについて

- 子どもたち（特に小学校低学年）には理解するのが難しいのではないか。どうやって伝えるか工夫が必要。「自分たちが主役」であり「自分の意見が市政に反映される」ことを伝えていく必要がある。
- 現実を伝えることも大事だが、「まちづくり」というのは本来「わくわくするもの」「夢があるもの」だと教えて、将来的に子供たちの夢をかなえてあげられるようにしたい。
- 議員にもアンケートをしてほしい。

議員アンケートについて

- 熱心に活動している人とそうでない人の差が大きい。
- 自分事だとして内容まで熟知してほしい。

中学生まちづくり作文について

- 優秀作品について、広報に載せるだけでなく、新聞や市内の施設に貼るなどたくさんの方の目に触れるようにしてほしい。
- 優秀作品に選ばれなかった生徒にも参加賞が用意できないか。